

(社)精密工学会 現物融合型エンジニアリング専門委員会 2008 年度総会第21回例会議事録

日時 2008 年 2 月 29 日 13:30-17:00

場所 東京大学先端科学技術研究センター 4 号館 2F 講堂

●出席者（敬称略）

○企業会員

山家孝司、酒井俊哉、(株)エリジオン、久保田一穂、(株)キャム、月野 誠、英山寛之、(株)くいんと、小岩井貴文、(株)コイワイ、亀川正之、(株)島津製作所、水野道全、中部日本工業(株)、丹下浩一、(株)東京精密 計測社、石樽冶寿、林啓太、トヨタテクニカルディベロップメント(株)、三和田靖彦、トヨタ自動車(株)、滝 克彦、高塩 創、日本ビジュアルサイエンス(株)、谷本茂樹、中邨博之、USOL 東京(株)、定岡紀行、佐々木一郎、(株)日立製作所、神村直毅、原田龍太郎、(株)本田技術研究所、丸岡浩幸、マテリアライズジャパン(株)、赤羽孝彦、丸紅情報システムズ(株)、鈴木誠也、ヤマハ発動機(株)

(16 社 (全 24 社中))

○個人会員

小池真司、NTT フォトニクス研究所、寺岡 啓、古川滋之、産業技術総合研究所、大竹 豊、鈴木宏正、松崎幸一、道川隆士、東京大学、小林一也、富山県立大学、圓谷寛夫、(株)ニコン、伊達宏昭、北海道大学、坂下勝則、徳本真一、和歌山県工業技術センター (11 名 (全 27 名中))

○ 新委員（個人会員）

大西 純、(株)デンソー

○ オブザーバー参加

宿利浩章、カールツァイス IMT(株)、ハイサム・シャンマー、東京大学（鈴木研学生）

●配布資料

○ 資料 1 議題

○ 資料 2 第 3 年次活動報告書

○ 資料 3 第 4 年次予算書

○ 資料 4 KOIwai Method e-mono 造り

○ 資料 5 CAM GROUP OF COMPANIES

○ 資料 6 接触式 3 次元測定器によるカム環測定

○ 資料 7 X 線 CT による複合材部品のボリュームデータのセグメンテーションとメッシュ生成

○ 資料 8 DVD 配布のご案内（(株)NVS）

○ 資料 9 輪講会資料 Volumetric Image Analysis (第 9～11 章)

●輪講会 (13:30～14:30)

下記輪講会を実施し、本文件すべてを終了した。

Volumetric Image Analysis, 第 9～11 章 曲面タイリング他

●2008 年度総会

議題 1 第 3 年次活動報告書（資料 2）

第3年次の活動に関する報告があり、了承された。

議題2 第3年次決算・会計監査報告（資料2）

第3年次の会計について説明があり、また、会計監査から監査報告が行われた。その結果、決算が承認された。

議題3 第4年次活動計画（資料1）

第4年次の活動に関して説明があり、了承された。

議題4 第4年次予算の件（資料1）

資料1に基づき第4年次予算が説明された。収支予算書の支出の部の「会費回収不能額 103,000 円」について質問があった。本収支予算書は2007年12月に学会提出したもので、その時点で2007年度会費の未収分があったため、それを計上したものであり、その後、100,000 円については支払いが行われている旨の説明があった。質疑の後、予算が承認された。

●第21回例会

議題1 前回例会議事録確認（参照：資料2）

前回議事録が承認された。

議題2 新委員紹介

下記、新委員の紹介があり、挨拶があった。

○ 個人会員 大西 純 （㈱デンソー）

議題3 話題提供

下記3件の話題提供があり、質疑応答が行われた。

1) 「プラスチック射出成形品評価の現状とリバースエンジニアリング応用技術への期待」

久保田一穂 ㈱キヤム

2) 「e-mono 造り」

小岩井修二 ㈱コイワイ

3) 「X線 CT による複合材部品のボリュームデータのセグメンテーションとメッシュ生成」

鈴木宏正、Haitham Shamma, 大竹 豊 東京大学

議題4 その他

今後の日程について説明があった。また、活動への意見・希望、特に講演の希望などを事務局に連絡してほしいとの依頼があった。

(以上)